

清須市男女共同参画プラン 【数値目標】 進捗管理

基本目標1 人権の尊重と男女共同参画社会に向けての組織づくり

施策1 人権の尊重 施策方向① 人権に関する啓発活動の推進

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
街頭人権啓発活動回数	文化展の実施する会場入り口にて実施する。	社会福祉課	1回	1回	3回	1回	中止	1回/年
市内各所にて啓発広報活動回数	人権擁護委員の日(6/1)、人権週間(12/4)に合わせて実施する。		1回	1回	1回	1回	中止	2回/年

施策1 人権の尊重 施策方向② 人権教育の推進

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
人権講話実施小・中学校数(社会福祉課)	人権週間(12/4～10)に合わせて実施する。	社会福祉課	12校	12校	12校	12校	希望校のみ	12校(市内全校)
人権講話実施小・中学校数(学校教育課)	人権週間(12/4～10)に合わせて実施する。	学校教育課	8校	8校	8校	8校	12校	12校(市内全校)
人権講話実施児童館数	夏休み期間中に実施する。	社会福祉課	8館	未実施	8館	中止	中止	8館(市内全館)
市職員の人権研修	市職員対象の人権研修を実施する。						0回	1回以上

施策1 人権の尊重 施策方向③ 人権相談窓口の充実

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
人権よろず相談実施回数	奇数月に市内4地区を持ち回りで実施する。	社会福祉課	6回	6回	4回	6回	4回	6回/年

基本目標2 政策・方針決定過程への男女共同参画の拡大

施策1 市におけるポジティブアクションの推進 施策方向① 附属機関、委員会等への女性委員登用の推進

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
表彰者審査委員会	女性委員の登用人数を確保する。	人事秘書課	5人	5人	5人	5人	5人	5人
特別職報酬等審議会	女性委員の登用人数を確保する。		—	—	—	—	—	30%以上
市の委員会・附属機関等における女性委員の割合	清須市第2次総合計画(基本計画)では、施策の成果に係る数値目標として左の項目を設定している。	企画政策課	—	30.2%	27.45%	35.29%	28.84%	33.9%以上
防災会議への女性委員の登用人数	女性委員の登用人数を確保する。	危機管理課	2人	2人	2人	2人	3人	3人
清須市ごみ減量化等推進委員会	女性委員の登用人数を確保する。	生活環境課	14人	14人	12人	11人	11人	11人
農業委員	委員会等への女性委員登用	産業課			0人	0人	0人	1人
農地利用最適化推進委員	委員会等への女性委員登用				0人	0人	0人	1人
市の附属機関、委員会等への女性委員の登用を積極的に進める【新規】	現在の女性委員の登用数を維持していく	保険年金課						3人
女性の健康づくり推進委員の増員	市附属機関、委員会等への女性委員の登用を積極的に進めていく。	健康推進課					6人	7人
開催される委員会等における女性委員の登用【新規】	委員数の半数を女性登用する。	社会福祉課						委員数の半数以上
都市計画審議会への女性委員の登用人数	女性委員の登用人数を確保する。	都市計画課	2人	2人	2人	2人	2人	2人
公共用地等検討審議会への女性委員の登用人数	女性委員の登用人数を確保する。		3人	3人	3人	3人	3人	3人
空家対策協議会への女性委員の登用人数【新規】	女性委員の登用人数を確保する。						0人	1人
スポーツ推進委員への女性委員数	女性委員の登用人数を確保する。	スポーツ課				14人	14人	14人
清須市学校給食センター運営委員会の女性登用率	委員の女性登用を積極的に行う。	給食センター			13人	12人	12人	11人

基本目標3 家庭や地域社会における男女共同参画の拡大

施策1 家庭や地域における男女共同参画の促進 施策方向② 地域活動等への参画の促進

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
地区サロン活動支援	広報、ホームページへの掲載	高齢福祉課	/	/	/	通年	1回	1回
出前講座実施	介護予防啓発のため		/	/	/	4回	4回	2回

基本目標3 家庭や地域社会における男女共同参画の拡大

施策2 防災分野における男女共同参画の促進 施策方向① 防災分野への女性の視点の盛り込み

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
ブロック自主防災組織の規約の策定率	基礎的単位としてのブロック化を推進する。	危機管理課	36ブロック	36ブロック	38ブロック	36ブロック	36ブロック	38ブロック

基本目標4 男女がともに働きやすい就業環境の実現

施策1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 施策方向② 仕事と家庭・地域生活との両立の支援

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
地域包括支援センター、事業所への説明会の実施	毎年5月実施	高齢福祉課	/	/	/	1回	中止	1回

基本目標5 福祉の充実と生涯にわたる心身の健康づくり

施策1 安心して生活できる福祉サービスの充実 施策方向① 高齢者の自立の支援

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
ひとり暮らし高齢者実態調査および福祉サービス事業の勧奨	令和3年8月～9月実態調査実施	高齢福祉課	/	/	/	5月～9月	中止	対象者3,659人

基本目標5 福祉の充実と生涯にわたる心身の健康づくり

施策2 生涯を通じた健康づくりへの支援 施策方向① 男女の健康づくりへの支援

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
乳がん検診受診率 (推計対象者:40～69歳)	女性はライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面する。女性がん検診時に女性の健康についてもう一度見直す機会とする。	健康推進課	34.5%	36.3%	21.3%	21.6%	13.3%	50.0%
子宮頸がん検診受診率 (推計対象者:20～69歳)			32.8%	33.4%	19.8%	18.0%	11.4%	50.0%
自殺者の減少 (内閣府自殺に関する基礎調査)	15人		7人	11人	12人	4人	10人以下	
ゲートキーパー養成講座等への参加者数 (24年～30年まで(フォローアップを含む))	183人		238人	405人	448人	397人	2023年度までの受講者 市民364人 市職員108人	
食生活改善推進員数	会員数の増加のみならず、男性会員が加わることで大きな健康の輪が広がり将来の住みよいまちづくりにつながる。		60人 (男性7人)	49人 (男性7人)	47人 (男性7人)	45人 (男性8人)	40人 (男性7人)	51人 (内男性会員10人)

施策2 生涯を通じた健康づくりへの支援

施策方向② 母子の健康づくりへの支援

項目	考え方	担当課	実績					R3目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	
ハイリスク妊婦のフォロー率	妊娠期からの関わりをもち支援をすることで虐待の予防・早期発見等にも繋がる。	健康推進課	68.1%	78.6%	75.6%	86.7%	86.9%	100%
思春期教室の開催校数	性を含めた身体を大切にすることを育むことが、生涯を通じた健康に繋がる。		4校	4校	0校	1回	2回	増加
パパママ教室の参加者数	市の施策やサービスの利用や、仲間作りが、安心した出産や子育てに繋がる。		222人 (妊婦150、 夫72)	270人 (妊婦180、 夫90)	199人	217人	84人	増加
ゆったりとした気分で過ごせる時間のある母親の割合 (4か月児・1歳6か月児・3歳児健診時)	市の施策やサービスの利用や、仲間作りが、安心した出産や子育てに繋がる。		4か月児 83.5% 1歳半 81.0% 3歳児 69.5%	4か月児 87.7% 1歳半 75.0% 3歳児 74.8%	4か月児 85.3% 1歳半 73.7% 3歳児 70.7%	4か月児 86.8% 1歳半 78.8% 3歳児 74.8%	4か月児 88.5% 1歳半 82.7% 3歳児 78.4%	増加